

## 予防接種事務デジタル化に係るアンケート ご説明資料

厚生労働省 感染症対策部 予防接種課

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

## はじめに

この度は、予防接種事務デジタル化に向けたアンケート調査にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今回のアンケート調査では、現行の予防接種事務での課題及びデジタル化後に想定している業務の妥当性、デジタル化により見込まれる効果についてお伺いすることを目的としております。

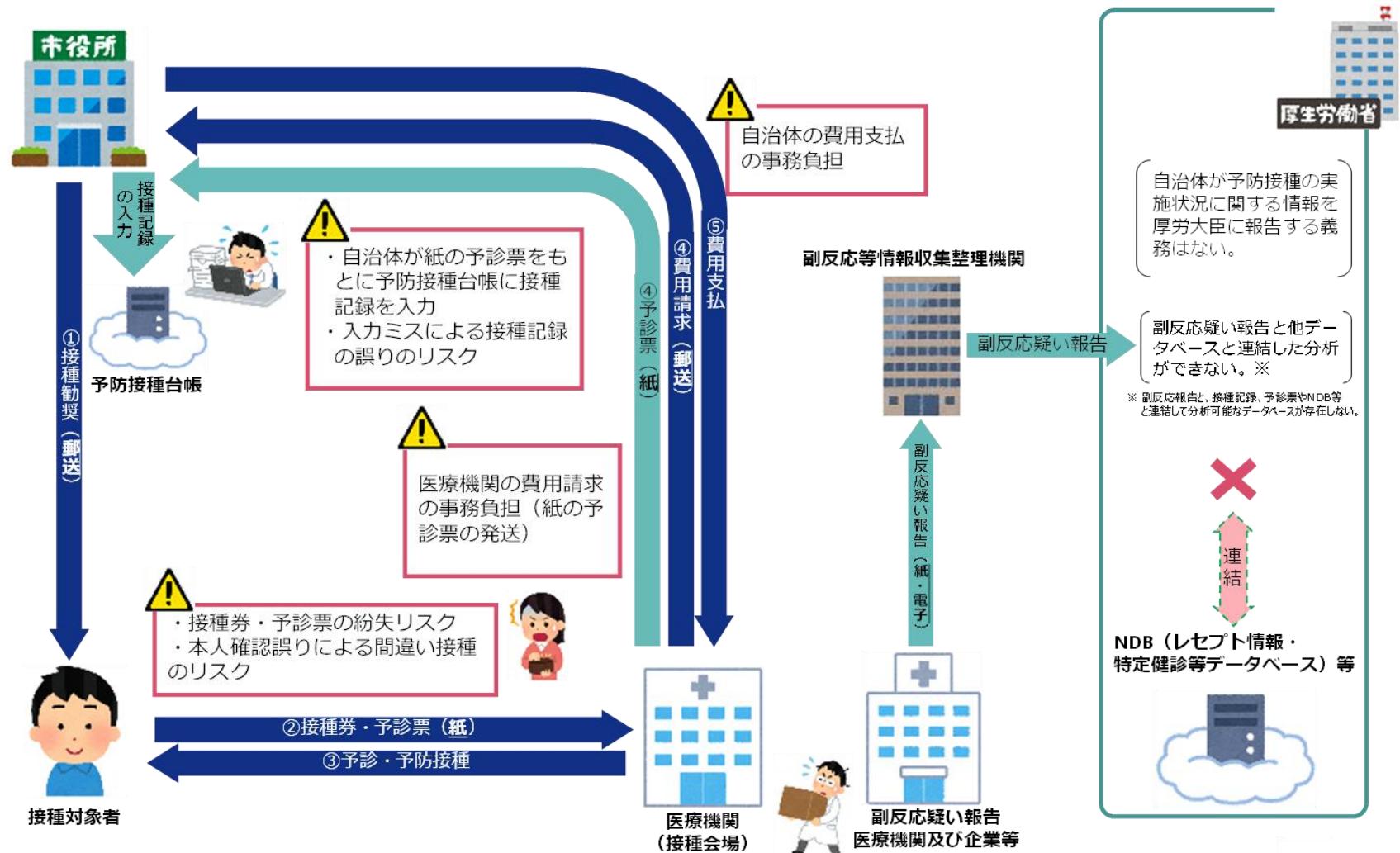
アンケートにご回答いただく際には、本資料を適宜ご参照ください。

なお、本アンケートの回答にあたっては、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種ではなく、通常の定期の予防接種に係る事務を想定してご回答をいただきたく存じます。

# 現状の予防接種事務の課題

予防接種事務デジタル化の前提として、現行の予防接種事務業務において以下のような課題を認識しております。

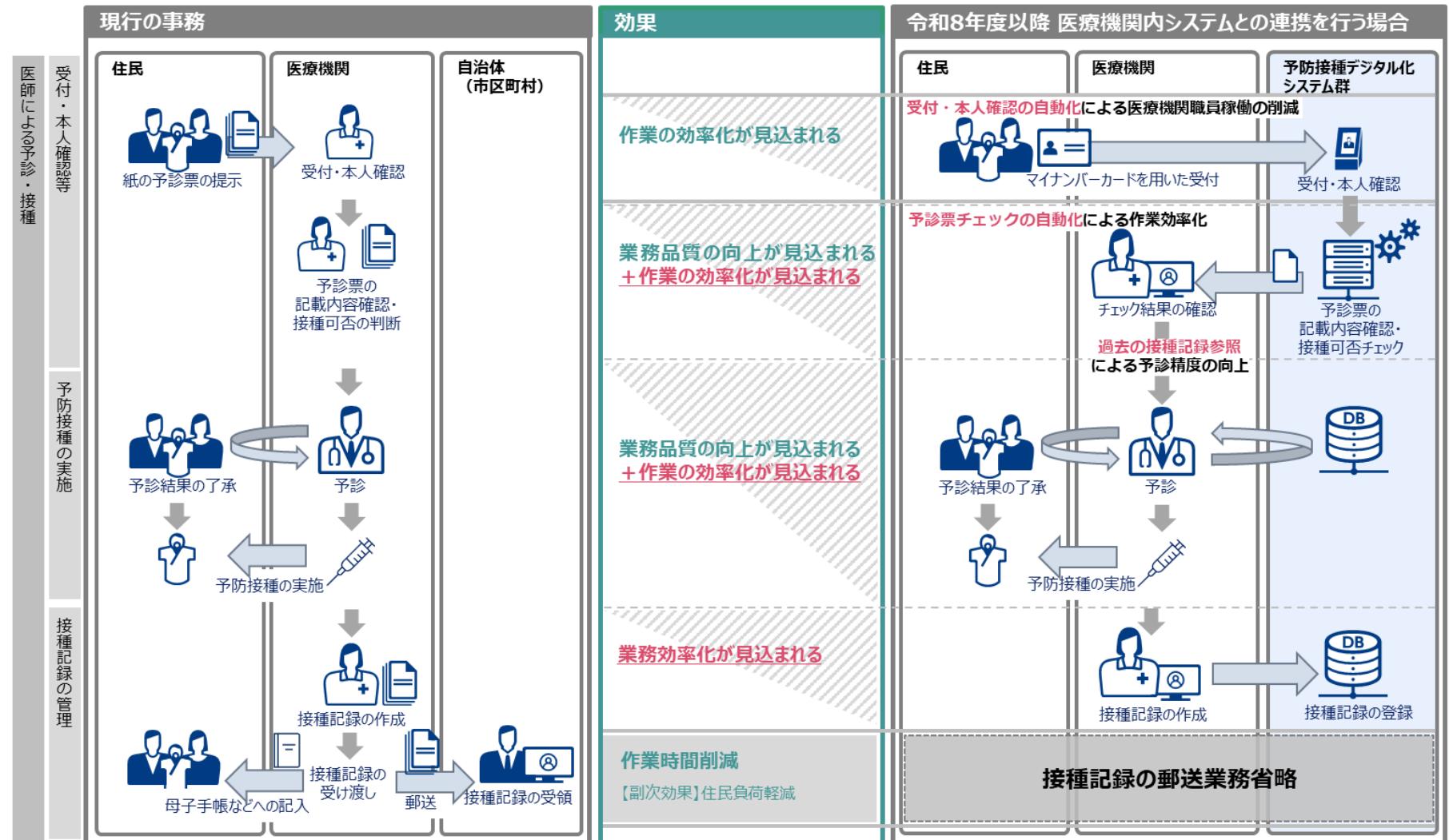
予防接種に係る事務のデジタル化によって、事務負担の軽減・リスクの低減・住民の利便性向上を目指しています。



# 【令和8年度以降】医療機関における予防接種事務デジタル化の効果

予防接種事務デジタル化後、医療機関業務においては、接種記録の郵送業務省略による作業時間の削減を見込んでいます。

その他、受付・本人確認の自動化や予診票及び接種記録のチェック機能による業務効率化及び業務品質向上等の効果を見込んでおります。



# 医療機関内システムの解説

関連質問：3

## ■選択肢の選び方

### 電子カルテシステム（オンライン資格確認用端末と接続）

診療録、診療諸記録を電子的に作成・保管・保存し、当該システムがオンライン資格確認用端末とシステム/データの連携を行っている。

### 電子カルテシステム（オンライン資格確認のネットワークと接続）

診療録、診療諸記録をシステムで電子的に作成・保管・保存し、当該システムはオンライン資格確認用端末とシステム/データの連携を行っていないが、電子処方箋の稼働に伴い（向けて）、当該システムが電子処方箋管理サービスとシステム/データの連携を行えるようオンライン資格確認のネットワークをオンライン資格確認用端末以外でも利用できるように設定変更等の対応を（予定）している。

### オーダリングシステム（オンライン資格確認用端末と接続）

（診療録は紙を原本とし）、検査オーダーや処方オーダー、点滴・注射オーダーをシステムで電子的に作成・保管・保存し、当該システムがオンライン資格確認用端末とシステム/データの連携を行っている。

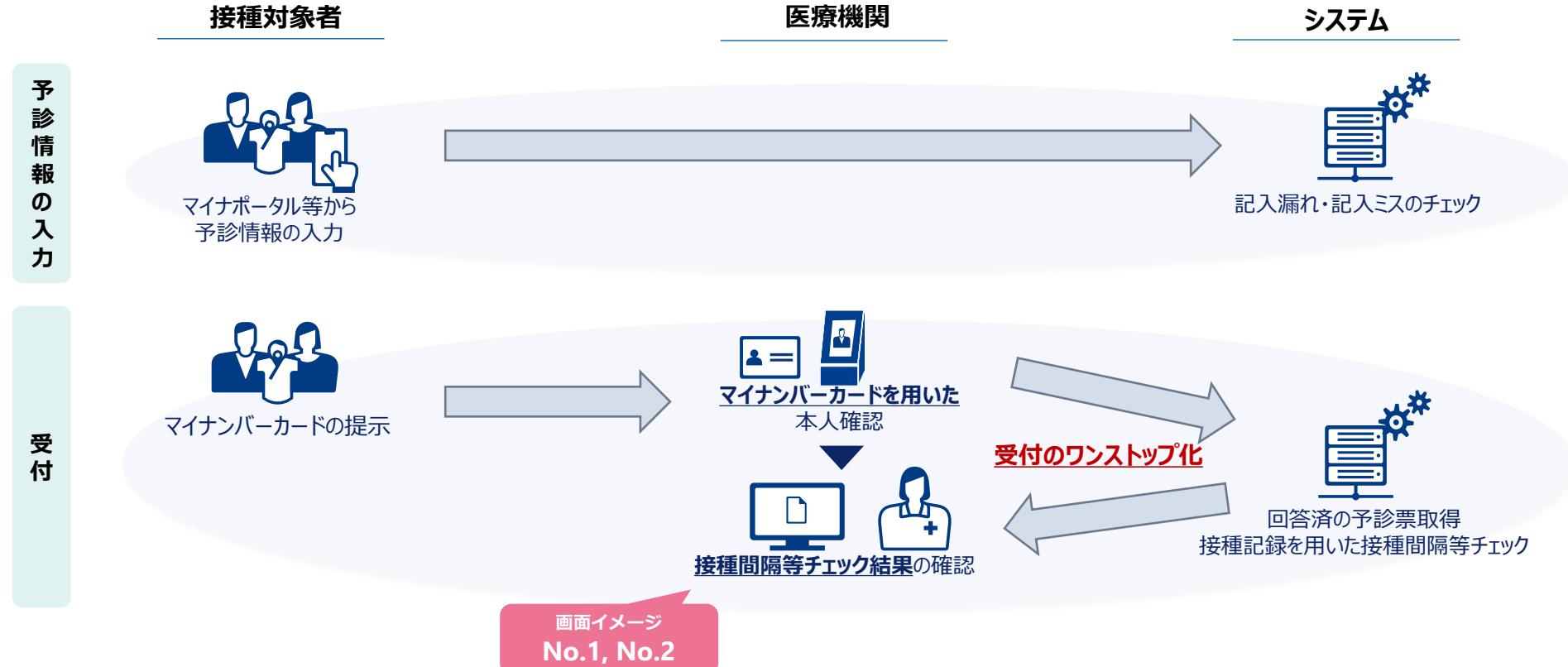
### オーダリングシステム（オンライン資格確認のネットワークと接続）

（診療録は紙を原本とし）、検査オーダーや処方オーダー、点滴・注射オーダーをシステムで電子的に作成・保管・保存し、当該システムはオンライン資格確認用端末とシステム/データの連携を行っていないが、電子処方箋の稼働に伴い（向けて）、当該システムが電子処方箋管理サービスとシステム/データの連携を行えるようオンライン資格確認のネットワークをオンライン資格確認用端末以外でも利用できるように設定変更等の対応を（予定）している。

# 接種対象者による予診情報の入力～医療機関における予診情報の確認

関連質問：6-1～6-4

- デジタル化後は接種対象者がマイナポータル等から予診情報を入力できるようになり、チェック機能によって記入漏れや記入ミスが削減されます。住所や氏名、生年月日等は自動的に入力され、必須項目の回答漏れが無いように登録前にチェックを行います。
- また、医療機関においても現状のオンライン資格確認の仕組みを活用し、予防接種対象者であることの資格確認及び事前に回答済の予診情報、並びに過去の接種記録情報の閲覧が可能となる想定です。



# 医療機関における予診情報の確認（画面イメージ）

関連質問：6-1～6-4

- 接種対象者が来院前に入力した予診情報及び過去の接種記録情報は、電子カルテやタブレット等の医療機関システムから確認可能となる想定です。
- 予診情報確認画面では、接種対象者の回答のうち要確認項目<sup>1)</sup>を目立つように画面に表示し、医療機関での確認を促す仕組みを検討しています。

画面イメージ  
No.1

## 予診情報（予診情報確認画面のイメージ）

基本情報

スズキ ハナコ	女 2000/1/1 (満22歳)
鈴木 花子	東京都〇〇区△△1234-5

予防接種履歴

接種日	ワクチン名
2000/1/1	〇〇ワクチン

予診情報

1. 質問事項 2. 医療機関記入 3. 医師判断 4. 接種情報

〇〇ワクチン 要確認項目 3件 体温 37.5℃ 確認完了

質問項目	回答
〇〇ワクチンを初めて受けますか？	いいえ 6月1日
最近1ヶ月以内に病気にかかったりしましたか？ (病名： )	いいえ
最近1ヶ月以内に病気にかかったりしましたか？ (病名：XXXXX)	はい
生まれてからまでに家族など身のまわりに結核にかかった方がいましたか	いいえ
薬や食品で皮膚に発疹やじんましんが出たり、体の具合が悪くなったりありますか	いいえ
近親者に先天性免疫不全と診断されている方はいますか	いいえ

予防接種における同意

回答
接種を希望します

本人（もしくは保護者）の署名 鈴木 花子

カルテ参照  
予防接種  
メニュー  
メニュー  
メニュー  
メニュー

画面イメージ  
No.2

## 予診情報（過去の接種記録情報の閲覧）

基本情報

スズキ ハナコ	女 2000/1/1 (満22歳)
鈴木 花子	東京都〇〇区△△1234-5

予防接種履歴

接種日	ワクチン名
2000/1/1	〇〇ワクチン
2000/1/1	△△ワクチン
2000/1/1	〇〇ワクチン

△△ワクチン

項目	入力欄
ワクチン名	△△ワクチン
ロット番号	123456789
接種量	5ml
実施場所	〇〇病院 医療機関コード：1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
医師名	山田 太郎
接種年月日	2023年 7月 1日

カルテ参照  
予防接種  
メニュー  
メニュー  
メニュー  
メニュー  
メニュー

1) 要確認項目…「今日体に具合の悪いところがありますか」という項目に対して「はい」と回答がなされている等、医療機関で重点的に確認いただく必要があると考えられる項目

# 接種記録の作成

関連質問：7-1～7-4, 8-1～8-2

- デジタル化後は、接種記録の作成業務がデジタル化されます。医療機関内で稼働しているシステムや機器/端末を用いた接種記録作成の省力化に資する機能の導入を検討しております。
- また、医療機関で行っていただく接種記録の登録が費用請求行為に代わるため、費用請求のための取りまとめ作業が一切不要となる想定です。

接種記録・請求



# 接種記録の作成（画面イメージ）

関連質問：7-1～7-4, 8-1～8-2

- デジタル化により、入力内容のエラーチェック、接種間隔チェック、GS1コードの読み取りによるロット番号の自動入力等、医療機関内で稼働しているシステムや機器/端末を用いた接種記録作成の省力化に資する機能の導入を検討しております。

画面イメージ  
No.3

## 接種記録登録

接種日	ワクチン名
2000/1/1	○○ワクチン

1. 質問事項		2. 医療機関記入		3. 医師判断		4. 接種情報	
○○ワクチン		未入力		1項目		確認完了	
項目	入力欄						
ワクチン名・ロット番号	バーコード読み取り						
	ワクチン名: ○○ワクチン						
	ロット番号: 123456789						
接種量	5ml						
	10ml						
実施場所	○○病院	医療機関コード: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0					
医師名	山田 太郎						
接種年月日	2023年 7月 1日						

# 令和8年度以降の業務パターン

関連質問：10-1

- 予防接種事務デジタル化においては以下の3パターンでの対応を想定しております。

- 医療機関内のシステム（電子カルテ、オーダリング、レセコン等）の改変や情報機器（電子カルテ端末、オーダリング端末、レセコン端末）の設定変更等を行い、医療機関内のシステム環境を利用してデジタル化した予防接種業務を行う
- 医療機関にてご準備いただくタブレット端末（VRSタブレット端末を除く）に予防接種向けアプリをダウンロードし、デジタル化した予防接種業務を行う
- 従前同様、紙の予診票を用いて予防接種を行い、接種記録を予防接種の情報管理システムにレセコン等の医療機関内のシステムを利用して登録する。

